

1. 基本情報（令和5年5月1日現在）

人口	322,642人	保護率	1.289%
----	----------	-----	--------

2. 支援状況（令和3年度）

新規相談受付件数（人口10万人当たり）	37.75件／月				
プラン作成件数（人口10万人当たり）	3.09件／月				
就労支援対象者数（人口10万人当たり）	1.67人／月				
就労・増収率（%）	42.8%・15.8%				
任意事業等の実施状況（令和5年度（予定））					
支援会議	就労準備	家計改善	シェルター	地域居住	子ども
○	○	○	○	×	○

3. 事業の概要等（令和5年度）

実施方法	<ul style="list-style-type: none"> いわき市旅館・ホテル業連絡協議会と協議の上、市内4か所の旅館、ホテル等で受け入れ実施 対象者からの相談及び宿泊先の調整は、自立相談支援機関（いわき市社会福祉協議会へ委託）が実施しており、支給決定については市（担当者1名）において実施
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊単価：税込7,000円（1泊3食付） 必要に応じて、下着等の現物支給を行う 利用期間は原則3か月
事業費	2,212千円
その他特記事項	

4. 事業の立ち上げプロセス

開始前

新型コロナウイルス感染症の拡大により、解雇や長期休業を余儀なくされ、居所を失った困窮者が増加した。これらの生活困窮者やホームレスの生活の立て直しや再就職を支援するには、宿泊場所の確保や食事の提供等を行い、安定した生活が得られるよう支援する必要があったことから、事業実施を決定。

事業調査の提出
【7ヶ月前】

・事業を必要とする背景、事業提案に至るまでの経緯・整理状況、事業実施による具体的な成果・効果・影響についてまとめた調査を作成

庁内の財政部局との調整
【6ヶ月前】

・予算要求に当たり、庁内の財政部局から、事業の必要性について指摘あり。
⇒県内の他の中核市でのホームレス等への対応について情報収集を実施。収集した情報に基づき、当該事業を利用して生活の立て直しを行う必要がある旨を説明し、理解を得た。

宿泊施設の検討
【1ヶ月前】

・宿泊場所の提供及び食事等の提供については、旅館やホテルの利用を検討。
・いわき市旅館・ホテル業連絡協議会と受け入れ先について調整を行った。

令和3年4月 事業開始

事業実施

- 実績：利用者14名（令和3年度）、19名（令和4年度）
- 事業対象者に対し、宿泊場所等の提供と併せて自立相談支援事業の相談支援を行い、求職活動や居場所の確保を図ることにより、早期自立につながった。
- 受け入れ可能施設の拡充が今後の課題である。